

様式 2

R5 第 1 回学校運営協議会（コミュニティー・スクール）記録

開催日時	令和 5 年 7 月 14 日（金） 10 時 00 分 ～ 11 時 45 分		
会 場	北海道函館養護学校 会議室		
出席者数	10 名	3 名（学校）	
出席者名	函館肢体不自由児者父母の会顧問 A 北海道函館養護学校 PTA 副会長 B 旭岡町会長 C 西旭岡町会長 D 函館市旭岡小学校長 E 函館市旭岡中学校長 F NPO 法人日本障害者・高齢者生活支援機構理事長 G 函館市福祉事務所函館療育・自立支援センター長 H 社会福祉法人友愛会つくしんぼ学級園長 I 北海道教育大学函館校 教授 J		
内 容		記 録	
1 開会の言葉	教 頭	○ 委嘱状は手交を予定していたが、感染予防のため机上での交付とする。	
2 日程説明	教 頭		
3 委嘱状の交付 校長挨拶 委員の紹介	校 長		
4 本校の学校経営について		○ 令和 5 年度の学校経営方針・重点目標について説明する。学校づくりのビジョンとしては、「笑顔あふれる学校」とし、重点としては、「児童生徒に応じた人とのかかわる力の育成」「社会に開かれた教育課程の充実」を掲げて、学校経営を推進していく。	
5 学校経営承認		➤ 委員全員が、承認する。	
6 教育活動について	教 頭	《1 学期の振り返り（スライドを使って説明）》	
7 地域資源の活用について	校 長	《地域資源の活用についての説明（教頭、校長）》 ・1 学期で活用した地域資源（人材、施設等）についてまとめた資料を基に、これを派生させて今後の教育活動に生かせる話題の提供をしていただいた。	
	G	➤ ユニバーサルスポーツの普及活動を行っている。	
	C	➤ 畑の大根を掘って、持って帰る。（農業体験ができる）	
	A	➤ 町内会で、過去に盆踊りで交流を行っていた地域があった。	
	校 長	➤ 地域の行事であれば、放課後を使って本校の寄宿舎の児童生徒の交流もできる可能性がある。	
	J	➤ ボランティアは大学生にも良い経験となる。大学でもボランティアを学習している。ボラ	



8 校舎内見学 9 各委員から	教 頭 G A	ンティアバンクに登録することで、学校でボランティアを受け入れることができる。 ➤ 本校の作品を展示する場所があれば紹介してほしい。 ➤ ブルーキャンドルをL I F Eなかじまの1 Fに展示している。 ➤ 市役所の1 Fに展示できそうな場所がある。
	A	《感想・意見》 ➤ P 1 0の学校教育目標と学部等の目標の関連で小学部⇒高等部への矢印は子どもたちの教育がどういうふうになっていくのか。
	校 長	➤ 一人一人の将来を見据えた計画。個別の教育支援計画では、3年スパンで考えている（長期目標）。また個別の指導計画では、1年スパンで計画を立てて指導している。
	A 校 長	➤ P 1 4職員間の言葉環境とは。 ➤ 言い方や伝え方によっては過度なストレスを受ける職員もいるので、伝え方は気をつけようということ。子どもが目の前にいる場合の言葉遣いも気をつける。
	C	➤ 職員の方はいつも大変なご苦労をしている。ストレスもあるでしょう。見学して子どもの目線で話をするのが大事であることがわかった。これからも頑張ってもらいたい。
	D	➤ 笑顔のあふれる学校ということで、子どもたちも笑顔が見られて良かった。
	F	➤ 教材・教具の工夫が素晴らしい。トントン相撲は手づくりの教材で、使いやすく工夫されて良かった。P 1 4の定時退勤日が自己申告制は参考にしたい。
	G	➤ 社会でともに生きる力は共感できる。人とのかかわるスキルが高い人は、本人が楽しく過ごせているので、人とのかかわる力を学校で意識して取り組んでいることは大事だと感じた。
	H	➤ コロナが5類感染症になってからの取組は施設でも同じように取り組んでいる。子ども一人一人に対する取組の中で、手作りの教材は良いと思った。
	J	➤ P 1 5教職員の資質向上が重点にあることが良い。学校の教職員は専門性を身につける必要がある。具体的な方策にも示されているのもよい。
10 校長挨拶	校 長	➤ 子どもの前で必要のないことを話さないことは大事である。自分の施設でも職員に、子どもはわからないだろうからということではなく、真摯な姿勢で取り組むよう言っている。
11 閉会の言葉	教 頭	➤ 苦手なところや得意なところを伸ばしてくれる学校に通学できていることはとても安心である。ただ学校を卒業した後のことを考えると不安があるので、いろいろな情報をいただけたら不安が減っていくと思います。 ○校長あいさつ

